

Elazzio

SEAT COVER



ISUZU

ELF

NISSAN

ATLAS

MAZDA

TITAN

UD TRUCKS

KAZET

専用シートカバー取付説明書



SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

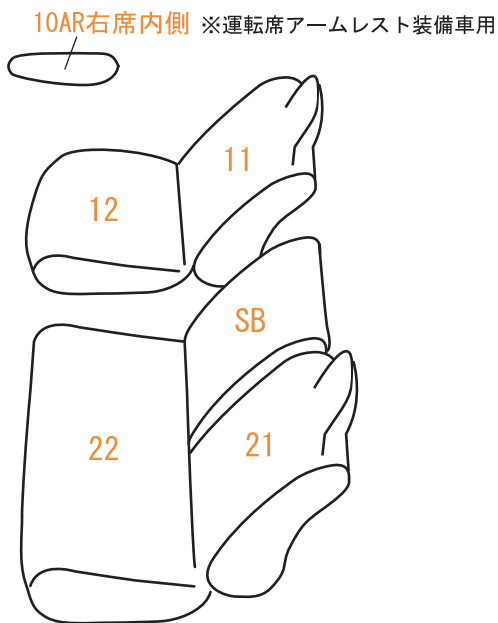
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 3P～4P
運転席座面の装着方法	…> 5P～6P
運転席背もたれの装着方法	…> 7P～10P
アームレストの装着方法	…> 10P
助手席座面の装着方法	…> 11P～12P
助手席背もたれの装着方法	…> 13P～14P
中央席背もたれの装着方法	…> 15P～16P
ひもの結び方	…> 17P
完成図	…> 18P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 19P～20P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① プラスドライバー
- ② クラツィオ 専用ヘラ (付属)
- ③ ソケットレンチ (14mm) ※運転席アームレスト装備車のみ必要

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。

事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。

- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年9月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当たると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
 - ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
 - シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
 - 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
 - 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
 - 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
 - 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。
- またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適 空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

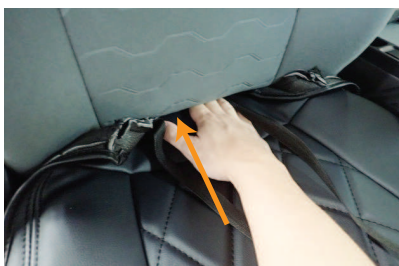
運転席座面の装着方法



- 1 シートのラインに合わせて、カバーをかぶせます。



- 4 カバー外側面に付いている固定部材を、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。カバーのフチ部分（図の赤線部）もプラスチックパーツの隙間に入れ込むようにして下さい。



- 2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 5 リクライニングレバー付近のシートの隙間にカバーを入れ込みます。



- 3 入れ込んだ生地を後ろ側から引き出し、シートを包み込むように、カバーをかぶせます。
※シートヒーター装備車は、1 2番を参照し、配線をかわして下さい。



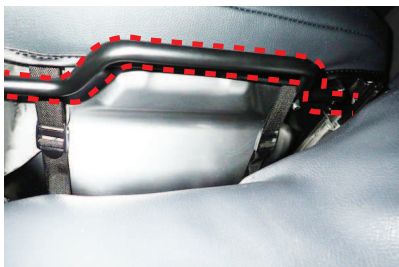
- 6 内側面も同様にして下さい。



- 7 3番で引き出した生地についているベルトを、シート裏を通して、前側に引き出します。



- 8 前側から引き出したベルトは、カバー前側に付いているバックルに通し固定します。
※詳しい固定方法は10番を参照して下さい。



- 9 ベルトを固定する際は、シートスライドバー（図の赤線部）の上側に固定するようにして下さい。



- 10 ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締め固定されます。
ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意ください。



- 11 カバーのラインを整えて、運転席座面の完成です。



- 12 シートヒーター装備車は、配線部分を図のようにかわしてカバーを装着します。

Step 2

運転席背もたれの装着方法

※ランバーサポート装備車の場合、ランバーサポート用ダイヤルを取り外し、カバーに穴開け加工が必要となります。
カバー装着前に、8ページの「ランバーサポート用穴開け加工方法」を参照して下さい。

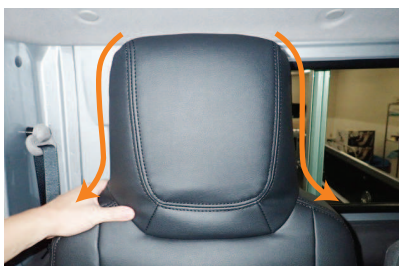
※アームレスト装備車の場合、アームレストを取り外し、カバーに穴開け加工が必要となります。
カバー装着前に、9ページの「アームレスト用穴開け加工方法」を参照して下さい。



- 1 シートにカバーをかぶせる前にカバー内側面のファスナーを開いておきます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2 シートのラインに合わせて、カバーをかぶせます。シートの先端までしっかりとかぶせる為、矢印の方向へカバーを馴染ませます。シートの先端の生地が余なくなるまで繰り返します。



- 5 入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



- 3 シートのラインからずれないようにカバーを左右均等に引き下げ、シート全体にかぶせます。



- 6 カバー内側面のファスナーを閉じます。生地を寄せながら慎重に閉じていきます。ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。

「ランバーサポート用穴開け加工方法」



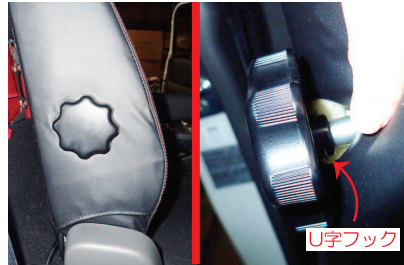
- 7 ファスナーの先端部分は、カバーの内側へ入れ込みます。



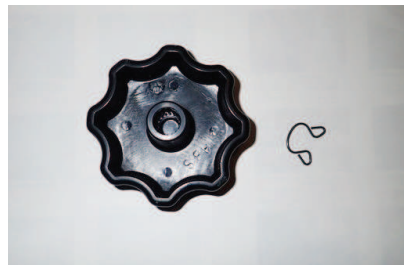
- 8 5番で引き出した生地と背面下側の生地を、マジックテープ同士で固定します。
※シートヒーター装備車の場合、配線部分はカバーの端から出るようになります。



- 9 カバーのラインを整えて、運転席背もたれの完成です。



- 1 シート外側面に付いているランバーサポート用ダイヤルを取り外します。
ダイヤルは、シートの軸にU字フックで固定されています。右図のようにシートを押しつぶす様にして、軸部分が見える状態でU字フックをダイヤルから抜き取ると、ダイヤルが軸から外れます。
この状態でカバーを装着します。

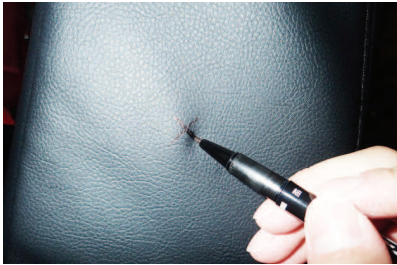


- 2 図は外したダイヤルとU字フックです。
ダイヤルを取り外す際に、U字フックが飛んで行く事があります。紛失しないよう注意して下さい。



- 3 予め、U字フックをダイヤルに固定しておきます。ダイヤルの軸部分にスリットが入っていますので、スリットに差し込むようにU字フックを固定します。

「アームレスト用穴開け加工方法」



- 4 シートカバーを装着した後に、ダイヤル取り付け位置が分かるように、図のようにカバーに印を付けます。



- 1 運転席背もたれからアームレストを取り外します。
アームレスト側面に付いているプラスチックカバーを、ヘラ等を使用し外します。



- 5 付けた印に沿って、ハサミ等を使用し、カバーに穴を開けます。
開けた穴から、軸部分を根本までしっかり取り出して下さい。この根本部分にU字フックが固定されます。



- 2 アームレストを固定しているボルトを、ソケットレンチ等を使用し外します。
(ソケット 1.4mm)
この状態でカバーを装着します。



- 6 取り外したダイヤルに、U字フックを固定した状態で、シートの軸部分に押し込むようにしてダイヤルを戻します。
正しくダイヤルが作動する事を確認して下さい。



- 3 シートカバーを装着した後に、アームレスト取り付け位置が分かるように、図のようにカバーに印を付けます。取り付け位置が分かりにくい場合は、7ページ6番で閉じたファスナーを開き、カバーをめくり上げるようにすると、取り付け位置が確認しやすくなります。

Step 3

アームレストの装着方法



- 4 付けた印に沿って、ハサミ等を使用し、カバーに穴を開けます。いきなり大きな穴を開けずに、始めは小さな穴を開け、取り付け位置の大きさを見ながら穴を広げるようにすると、穴を開け過ぎずに済みます。



- 5 正しく穴開け加工をすると、このようになります。



- 6 取り外したアームレストを元に戻します。プラスチックカバーの戻し忘れに注意して下さい。

※アームレスト装着車のみ



- 1 カバーの向きを確認します。加工穴が開いている面が、アームレストの内側面になります。内側面の加工穴からアームレストのラインに合わせて、カバーをかぶせます。アームレストの先端までしっかりかぶせて下さい。



- 2 アームレストの後端に引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。アームレストとシートの隙間が狭い為、カバーがかぶせ辛くなっています。アームレストを上下に動かしながら、ヘラ等も使用し、少しずつかぶせるようにして下さい。



- 3 カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。

Step 4 助手席座面の装着方法

※助手席シートを車体から取り外し、カバーを装着します。



- 1 始めに、背もたれ下部から座面に固定されている生地を取り外します。
助手席・中央席の2カ所にあります。
生地は、マジックテープで座面の背面側に固定されています。



- 2 3番からシートの固定具位置を確認し、シート下に手を入れて、固定具からシートを引き抜くようなイメージでシートを持ち上げ、固定具を外していきます。



- 3 シートを車体から取り外した図です。
車体の○位置に固定具がありますので、①から⑤の順番に外していくようにします。
固定具⑤が一番外れにくいので、慎重に作業して下さい。
過度な勢いで外そうとすると、固定具が破損する恐れがあります。ご注意ください。



- 4 3番で示した、固定具④付近に付いているカブラーを外します。
カブラーは、図の矢印位置のツメを押しながら引き抜くようにすると外せます。



- 5 シート内側面にゴムで固定されているシートベルトバックルを抜き取ります。
カバー装着後、このゴムは使用しません。
※カバー側に同様のゴムが付いています。
シート中央からもシートベルトを抜き取ります。



- 6 取り外したシートを、作業が出来る広いスペースに運び出します。
シートのラインに合わせて、カバーをかぶせます。
5番でシートベルトを固定していたゴムは、カバーの内側へ入れ込みます。



- 7 カバー背面の加工穴からシートの固定用金具を取り出します。



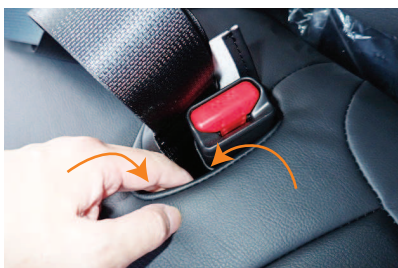
- 8 シートを裏返し、カバー前後に付いているベルトを固定します。



- 9 カバー左右に付いているひもを引き絞り、シートの下回りを整えます。
※ひもの結び方は、17ページを参照して下さい。



- 10 取り外した反対の手順でシートを車体に戻します。5番で抜き取ったシートベルトバックルをカバーに付いているゴムに通し固定します。
※4番で外した、カブラーの戻し忘れに注意して下さい。



- 11 カバー中央の加工穴の生地を、シートベルトの隙間に入れ込みます。



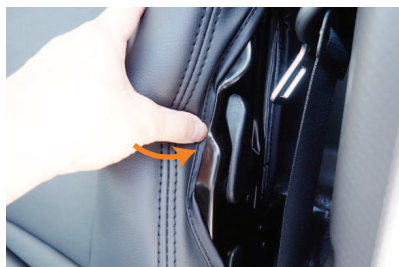
- 12 カバーのラインを整えて、助手席座面の完成です。
※カバー背面に付いているマジックテープは、背もたれ装着後に使用します。

Step 5

助手席背もたれの装着方法



- 1 シートにカバーをかぶせる前にカバー内側面のファスナーを開いておきます。



- 4 リクライニングレバー部分に生地を入れ込みます。



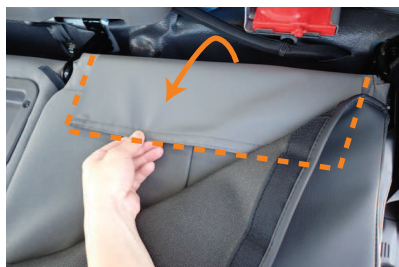
- 2 シートのラインに合わせて、カバーをかぶせます。シートの先端までしっかりとかぶせる為、矢印の方向へカバーを馴染ませます。シートの先端の生地が余らなくなるまで繰り返し行います。



- 5 シートを倒した状態で、リクライニングレバー部分の隙間（図の赤線部）に生地を入れ込みます。隙間が狭い部分は、ヘラ等を使用して入れて下さい。



- 3 シートのラインからずれないようにカバーを左右均等に引き下げ、シート全体にかぶせます。



- 6 シート下側に付いている生地（11ページ1番で取り外した生地）を背面側のカバーの中に入れ込むようにします。



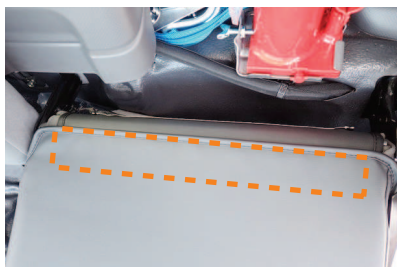
- 7 カバー内側面のファスナーを閉じます。生地を寄せながら慎重に閉じていきます。ファスナーの先端部分は、カバーの内側へ入れ込みます。
ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 8 カバー下側の生地（2枚ある下側の生地）を背面側に入れ込みます。



- 9 入れ込んだ生地をシートの後ろ側から引き出します。



- 10 引き出した生地と背面下側の生地を、マジックテープ同士で固定します。



- 11 カバーのラインを整えて、助手席背もたれの完成です。



- 12 カバー下側の生地（2枚ある上側の生地）は、座面カバー背面に付いているマジックテープに貼り付け固定します。

Step 6

中央席背もたれの装着方法

※「SB」のタグが付いたカバーを使用します。



- 1 シート背面のバックテーブルを取り外します。
シートを倒した状態で、バックテーブルを固定しているネジ位置（4カ所）を確認します。



- 2 プラスドライバーを使用し、4カ所のネジを外すと、背面のバックテーブルが取り外せます。



- 3 シートのラインに合わせて、カバーをかぶせます。シートの先端までしっかりかぶせて下さい。



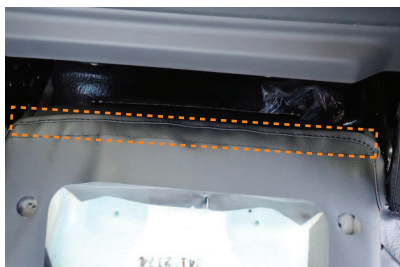
- 4 リクライニングレバー部分に生地を入れ込みます。
※図の点線部分は、隙間が狭い為、生地が入れ込みません。



- 5 カバー下側の生地（2枚ある下側の生地）を背面側に入れ込みます。



- 6 ①入れ込んだ生地をシートの後ろ側から引き出します。
②シート下側に付いている生地（11ページ1番で取り外した生地）をカバーの中に丸めて入れ込むようにします。



- 7 6番で引き出した生地と背面下側の生地を、マジックテープ同士で固定します。



- 10 カバーのラインを整えて、中央席背もたれの完成です。



- 8 カバーの加工穴が、ネジ穴位置（1番の○位置）に合っている事を確認します。位置がずれている場合は、カバーを調整して下さい。

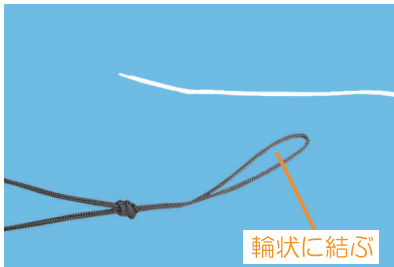


- 11 カバー下側の生地（2枚ある上側の生地）は、座面カバー背面に付いているマジックテープに貼り付け固定します。



- 9 バックテーブルを、取り外した反対の手順で元に戻します。テーブルの隙間からはみ出た生地は、テーブルの中に入れ込むようにして下さい。

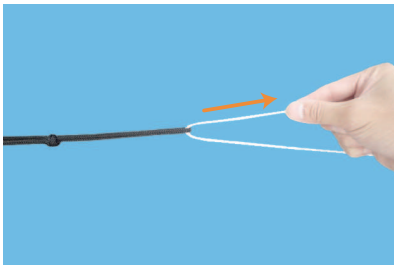
ひもの結び方



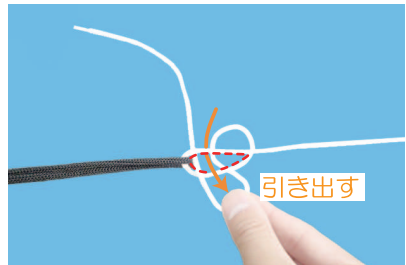
- 1 ひもの結び方です。
片方のひもを図のように輪状に結びます。
※図はわかりやすいように、色の違うひもを使用しています。



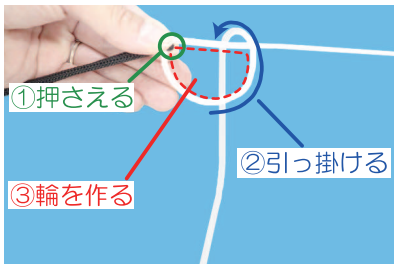
- 4 3番の③で作った輪に指を入れ、②で引っ掛けたひもを指で掴みます。



- 2 1番で作った輪にもう片方のひもを通し、ひもを引き絞ります。
※ひもを強く引っ張りすぎると、切れる恐れがある為ご注意ください。



- 5 掴んだひもを輪から引き出します。



- 3 ①ひもが緩まないように、ひもとひもが交わる部分を指で押さえます（ひもを結び終わるまで押さえて下さい）。
②白色のひもを図のように前から後ろに向かって引っ掛けます。
③図のように輪を作ります。
※実際に結ぶ際は、写真のように輪を綺麗に作りながら作業を行うのは難しい為、4番の作業を行う上での補足程度と考えて下さい。



- 6 3番の①でひもを押さえている方向に引き出したひもを引っ張る事で、固定する事ができます。

完成図



➤ 運転席側



➤ 助手席側



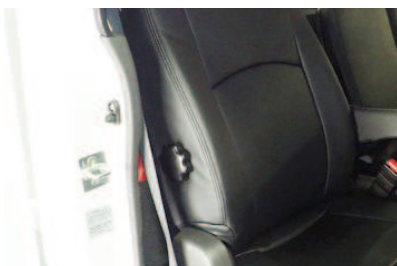
➤ 助手席背面



➤ 中央席背面



➤ 運転席アームレスト



➤ 運転席ランバーサポート

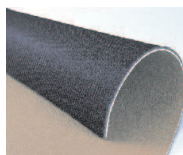


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。
長時間放置しておくとうれやシミが取れなくなります。
表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となる為しっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816